

新型コロナウイルスの影響により、龍華図書館は現在臨時休館となっておりますが、皆さんはお変わりありませんか？一日も早い終息を願うばかりです。

今月の「シリーズ 図書館でめぐる郷土」は八尾の特産野菜の特集です。八尾は八尾若ごぼう、八尾えだまめ、紅たでなどの生産地です。八尾野菜の知られざる魅力をたっぷりとご紹介します！

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第十七回 『八尾野菜』

八尾市は工業製品出荷額も大阪府下第4位を誇る都市ですが、同時に八尾若ごぼう、八尾えだまめ、紅たでなどの「スター級野菜の生産地」でもあります。

「八尾若ごぼう」は根っこだけを食べる通常のごぼうとは異なり、葉っぱ・軸・根、そのすべてを美味しく料理できます。他の地域では「葉ごぼう」と呼ばれ、出荷時に曲線状にまるく束ねますが、八尾ではまっすぐのまま束を束ねたように出荷します。その見た目から、「やーごんぼ」と呼ばれることも。通常のごぼうよりも短い根の部分はしっかりごぼうの風味があり、その上にある蔕に似た長い軸は、シャキシャキとした軽快な歯ごたえです。大きな葉はほろ苦く、おひたしなどにすれば絶好の晩酌のアテになります。

八尾若ごぼうは秋口に種まきをして、収穫はハウス栽培で1月下旬から、トンネル栽培なら2～3月。最も味も香りも強くなる露地栽培が始めるといよいよ本格シーズンで、3～4月中旬がこれに当たります。食物繊維、カルシウム、鉄分のほか、血液サラサラ効果もあるルチンを多く含む健康食材です。

続いてご紹介するのは「八尾えだまめ」。八尾えだまめは大阪府内で生産量ナンバーワンを誇る名物食材で、タンパク質やビタミン等の栄養価が高く、カロリー控えめというとてもヘルシーな食材です。えだまめは一見保存ができそうに見えますが、収穫して2日経つとアミノ酸と糖分が半減してしまいます。しかし、一大消費地である大阪市内へ当日出荷が可能な八尾えだまめは、鮮度抜群のため甘みと旨みがたっぷり。ハウス栽培は5月下旬から、露地栽培は6月下旬から8月中旬までがシーズンで、夏いっぱい楽しめます。アルコールを分解する働きもあり、夏のビールのお供に最適です。

最後に「紅たで」をご紹介します。「紅たで」と聞いてピンとこない人も、「刺身のツマの赤いやつ」と言えば「ああ、あれか！」と思いつけるのではないのでしょうか。採れたてをひと口かむと涙が出そうな辛さですが、この辛味成分ポリゴジアルに殺菌作用があり、傷口の消毒や胃痛、胸焼けにも効果的な薬草として古くから用いられてきたそうです。抗酸化作用があり目にも良いアントシアニンや、ビタミンCの含有量も豊富で美容にもおすすめです。

近頃は地元・八尾だけでなく関西全体に広がってきた八尾野菜。その魅力をぜひ堪能してください。



【写真】八尾えだまめの塩ゆで

【写真提供】八尾市経済環境部 産業政策課 農業振興係
「うまいで！食べてや！！八尾特産物」

<http://www.on-do.net/yaotokusanbutsu/index.html>(2020年4月30日確認)

参考資料

『Wao! Yao 八尾の入り口』2013年3月 八尾市魅力満載BOOK制作委員会

『八尾いただきまっぷ』2015年1月 八尾市農業啓発推進協議会、八尾市産業政策課

『ちかごろうわさの八尾野菜。』2015年10月 「農」ある良好な八尾の都市空間のあり方を検討する会

『世界に自慢したい八尾の名物』2019年8月 八尾市市政情報課

5月のTopics&Information



-Topics

書籍消毒機



龍華図書館の入口付近には、書籍消毒機が設置されています。「使ったことがある」という方もたくさんいらっしゃると思います。スイッチを入れると30秒間で本を綺麗にしてくれるすぐれもの。一体どんな仕組みになっているのか、ご紹介します。

スイッチを入れるとまず紫外線ランプが点灯し、本を殺菌消毒します。機械の作動中に内部が青みがかって見えるのは紫外線ランプの光果です。

また送風機能があり、本の下側から風を当ててページに挟まった埃やゴミを取り除くほか、同時に脱臭もしています。一度に4冊まで利用可能です。

新型コロナウイルスの世界的流行により、ウイルス対策について考える機会が増えました。実際に書籍消毒機の利用率は上がっており、皆さんの意識の変化を感じています。図書館資料は多くの人の手に触れるものです。衛生的な面でも、皆さんに安心して資料を利用してもらえよう開発された機械です。操作方法も簡単なので、是非使ってみてくださいね。



-Information 図書館のご案内

本屋大賞受賞作の予約について

2020年本屋大賞は尻良ゆうさんの『流浪の月』が受賞となりました。尻良さんは滋賀県の出身で、元々は漫画家志望でした。結婚後に、思い立って投稿した中編小説『恋するエゴイスト』がボーイズラブ小説雑誌『小説花丸』に掲載され、翌年に長編小説『花嫁はマリッジブルー』で本格的に小説家デビュー。小説家として10年以上のキャリアを積みながら、作品を多数手掛けられ、今回の受賞となりました。現在、八尾市内の図書館では4冊所蔵しています。大賞決定前より予約多数の人気本ですので、是非、予約をして読んでみてください。



『流浪の月』 尻良ゆう/著
(資料コード:710674185)

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。【TRCマークより】



今月の一冊はコレ!



「おもしろそうにおよびでる 鯉のぼり図鑑」

(資料コード:710615915)

編：日本鯉のぼり教会／文：林 直輝／出版：小学館

5月5日の端午の節句に飾られる鯉のぼり。悠々と青空を泳ぐ姿が印象的です。鯉のぼりが誕生したのは江戸時代中期。当初は、現在お馴染みの魚の形ではなく、のぼり旗に鯉の滝上りの意匠をあしらったものでした。そうした鯉のぼりの歴史や地域によるデザインの違いなどを、豊富なカラー写真で紹介しているほか、日本全国で行われている鯉のぼり祭りの様子も掲載されています。「地域によってこんなに違いが出るんだな」と見比べてみるのも楽しい一冊です。

発行・編集 八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

